

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
数学α	数学Ⅰ・Ⅱ・A	3	習熟度別	共通	1

教科書（発行所）	新編数学Ⅰ（数研出版）、新編数学Ⅱ（数研出版）、新編数学A（数研出版）
教科書以外の教材	1 チャート式 数学Ⅰ+A（数研出版）、チャート式 数学Ⅱ+B+C（数研出版） 2 3TRIAL 数学Ⅰ+A（数研出版）、3TRIAL 数学Ⅱ+B+C（数研出版）

目 標	2次関数、場合の数と確率、図形と計量、図形と方程式及び三角関数について理解し、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図る。また、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を養う。そして、積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。		
-----	--	--	--

	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1学期	数学Ⅰ 第3章 2次関数 第1節 2次関数とグラフ 第2節 2次関数の値の変化 第3節 2次方程式と2次不等式	2次関数とグラフ 2次関数の最大・最小、2次関数の決定 2次方程式、2次不等式	スタディーサポート 中間考查
		数学A 第1章 場合の数と確率 第1節 場合の数	順列、組合せ	期末考查
		第2節 確率	独立な試行と確率、条件付き確率、期待値	実力考查
	2学期	数学Ⅰ 第4章 図形と計量 第1節 三角比 第2節 三角形への応用	三角比の相互関係、三角比の拡張 正弦定理、余弦定理、三角形の面積、空間図形への応用	中間考查 期末考查
		数学Ⅱ 第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円 第3節 軌跡と領域	平面上の点、直線の方程式、2直線の関係 円の方程式、円と直線、2つの円 軌跡と方程式、不等式の表す領域	実力考查
	3学期	数学Ⅱ 第4章 三角関数 第1節 三角関数 第2節 加法定理	角の拡張、三角関数を含む方程式、不等式 加法定理、加法定理の応用	学年末考查

授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等	<p>1. 授業に集中し、意欲的に問題に取り組む。そして、授業中分からなかった問題はその日のうちに解決する。</p> <p>2. すぐに解答を求めるのではなく、考えることに重点を置く。</p> <p>3. 日々題・週課題に全力で取り組み、期限内に提出する。</p> <p>授業では、説明を聞いて解法を覚えるのではなく、クラス全体で学び合い、考え合うことで理解を深めることを目的とします。そのため、間違えることを恐れず積極的に授業に参加することが授業理解の第一歩です。数学において大切なことは、考える力を養うことです。それこそが数学を学ぶ意義であり、「何のために数学を学ぶのか」の一つの解答ではないでしょうか。そのためにも授業や課題等を工夫し、皆さんが「一番好きな教科は数学」と言ってくれるように取り組んでいきます。「もっとこうしてほしい」という要望があればいつでも教えてください。指宿高校での数学を楽しみましょう。</p>
----------------------	---

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	2次関数、場合の数と確率、図形と計量、図形と方程式及び三角関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。また、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。
評価の方法	定期考查、学習活動への参加の態度、提出物の内容及び自己評価等を総合的に評価します。知識・技能にもとづいた思考力・判断力・表現力及び主体的に学習に取り組む態度すなわち普段の学習活動を評価しますので、本質的な力を磨くようにしてください。		